



R I. 第2620地区 静岡第2分区
三島西ロータリークラブ

週報

第1858号

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 2F
TEL (055) 976-6351 FAX 976-6352
例会場 静岡県三島市本町14-31 みしまプラザホテル
TEL (055) 972-2122
会長 矢岸 克行 幹事 森崎 祐治



広重版画より 三島 朝霧

第1921回例会

2012.2.23雨

司 会

瀬川幸信君

ロータリーソング

「それでこそロータリー」
指揮 柴崎恵子君

会長挨拶

会長 矢岸克行君

皆様、こんにちは。

今日は相変わらず寒いですね。河津桜もほとんど咲いていない様で、大分現地は困っている様です。異常気象もここまで来ると一体どうなっているのかと。いくら科学が発達しても自然にはかなわない事が良くわかりました。

さて、今日の話ですが、さきほど私たちのテーブルで寿命の話になりました。ここ50年間で約25歳、平均寿命が延びたそうです。70、80は全然若くまだまだこれから。そんな感じです。そうなるといかにロータリークラブでの仲間というのが大事になるか、考えてみて下さい。年代の違い、業種の違いを乗り越えて毎週会える喜び、楽しさ、幼なじみや地域の人たちとはまた違ったお付き合いが出来ます。それも毎週です。こんな素晴らしい事はありません。

是非皆様ロータリークラブを楽しみ、会員相互の友情を益々大切にしていきましょう。

“こんにちは、ようこそ”

ビジター 紀平幸一君(伊豆中央RC)

出席報告

	出席総数	出席率	メークアップ	修出席正率
前々回	26/44	59.10%	31/44	70.45%
今回	42/49	85.71%	会員総数	52名

欠席者 石井(彰)君、窪田君、栗田君、野口君、花房君、原君、柳田君

幹事報告

幹事 森崎祐治君

① 3月の予定をお伝えします

- 3月1日 通常例会 (例会前理事役員会開催)
- 8日 夜間親睦例会
- 15日 通常例会
- 18日 P E T S (甲府)
- 22日 箱根にて墓参後例会
- 24日 苗栗RC41周年記念式典 (台湾苗栗) 19名参加予定
- 29日 特別休会

② 三島市への寄付について (40周年記念事業の一環)

三島市障がい者就労支援きょうどう隊のカフェ「じゃんぷ」がこの16日生涯学習センターにオープンしましたがここでの機器(コーヒーマシン、自動製氷機、浄水器、炊飯器等)の整備に活用されました。皆さんもお立ち寄りください。

③ 第2620地区富士山の日事業へのご協力について

先週欠席の方本日ご協力お願いします。

④ 木犀の会のご案内

9月上旬に大社の木犀の開花に合わせて木犀の会が開かれます。木犀の香りに食事や雅楽が楽しめます。会費3000円。お申し込みは事務局までお願いします。

2011~2012年度
国際ロータリー会長
カルヤン・パネルジー

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

おめでとう

会員誕生日 伊丹君、前田君
入会記念日 古川君
結婚記念日 室伏君、前田君

スマイルボックス

◆次年度幹事・黒田君、三島西ロータリークラブ2012～2013年度理事・各委員会構成が決まりましたので、本日ポケットに入れさせて頂きました。会員の皆様のご理解とご協力に対して深く感謝申し上げます。S A Aの瀬川さんには、メンバーを説得して頂きまして誠に有難う御座いました。

◆野田君、久しぶりに、月火と風邪をひいてしまいました。病院に行かず、2年ほどまえに仲田先生のところで処方してもらった薬があり、飲んで寝てましたら回復し水曜日から復帰できました。先生を偲びながら感謝です。

◆室伏君、久しぶりのホームクラブです。結婚40周年、罪滅ばしの旅行でした。

◆諏訪部(照)君、今年の伊豆マラソンでは、イメージ通り走れました。森崎さん、ご指導ありがとうございました。今度は10kmコースにチャレンジしまっせえ～！

◆伊丹君、誕生日祝い有難うございます。お陰様で古稀年齢になりました。70歳はおじいさんの年と思っていたら自分がなっていました。これから男の花道の始まりです。その為に70年が準備期間としてあったのかなと思っている昨今です。

◆遠藤(眞)君、本日卓話です。気合を入れてやります。静かに聞いて下さい。

◆渡辺(雅)君、先日は取り乱してすみませんでした。落ち着いて文章にしました。読んでみて下さい。

◆A・Bテーブル、A・B合同テーブル会を広小路の登喜和にて行い、先輩の皆さんより有意義なお話を聞き、又お酒も美味しくいただき、楽しい夕べでした。

◆西本君、早退します。

卓話

狩猟者の社会的責務

遠藤眞道君

狩猟者が果たすべき主な社会的責務は次のとおりである。狩猟者は単なる鳥獣の捕獲者ではない。鳥獣の保護、管理の担い手、いわゆる「森の番人」であることを自覚し、行動する必要がある。またそれにふさわしい社会的責務を果たしてこそ、狩猟に対する一般国民の理解を深め、人と鳥獣との共存を推進させる鍵となることを認識する必要がある。

- ①自然環境の保全に協力すること、特に地域の自然環境に精通し環境のモニターとして、地域社会に貢献すること。
- ②常に狩猟に関する知識や技術の向上を図ること。
- ③関係法令の規定に従い、狩猟に関するマナーを遵守すること。
- ④捕獲した鳥獣の有効利用に努めること。
- ⑤自然環境の保全に関する各種調査に協力し、必要な情報や資料を提出すること。
- ⑥鳥獣による各種被害の防止対策に対して、誠意をもって積極的に協力すること。

ROTARY NEWS

ロータリー107周年を祝う

これまでロータリーは、最優先項目であるポリオ撲滅に向けて、大きく前進してきました。それを証明する例として、かつてポリオ感染の中心地であったインドでは、今年1月の時点で、1年間ポリオ無発生という快挙が成し遂げられました。

また、ロータリーはこれまで、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団から寄せられた3億5,500万ドルの補助金に応えるために、2億ドルの募金チャレンジに取り組んでいましたが、今年1月、とうとう目標額に到達しました。ゲイツ財団は、ロータリーの達成を称え、さらに5,000万ドルを寄付しました。これら総額6億500万ドルの資金は、ポリオ常在国での予防接種活動の支援に充てられます。

ロータリーの創立記念日である2月23日の週、世界中の有名建造物に、ポリオ撲滅のメッセージ「END POLIO NOW」が投射されました。

(週報担当：田熊幸代)